

## 第4回 福岡ゆたか中央病院 地域協議会 議事概要

【日時】平成29年8月31日(木) 19:00~20:30

【場所】JCHO福岡ゆたか中央病院 2階 大会議室

- 【議題】
1. 当院の活動実績報告
  2. 臨床実習について
  3. 健康管理センター紹介
  4. 協議委員からの意見・要望事項

- 【出席者】
- 橋本 弥生 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監)  
掛川 秋美 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 健康増進課長)  
近藤 博史 (直方市市民部長兼福祉事務所長)  
毛利 正史 (直方市消防本部 消防長)  
山本 昭利 (直方市市民部健康福祉課長 直方市地域包括支援センター長)  
山近 仁 (直方鞍手医師会 会長)  
穴井 堅能 (北九州八幡医師会 会長)  
輪田 順一 (みずほ内科・歯科クリニック 副院長)  
赤司 千波 (福岡県立大学 看護学部 学部長)  
横山 賢一 (学校法人大和学園 大和青藍高等学校 常務理事)  
能間 聰 (直方市民生委員・児童委員協議会 会長)  
井上千恵子 (くらの会の会 会長)  
野田 晏宏 (福岡ゆたか中央病院 病院長)  
小野 洋 (福岡ゆたか中央病院 副院長)  
松本 高宏 (福岡ゆたか中央病院 副院長)  
福嶋ひろみ (福岡ゆたか中央病院 総看護師長)  
野口 利幸 (福岡ゆたか中央病院 事務長)  
木嶋 隆 (福岡ゆたか中央病院 事務長補佐) ※敬称略

### 【概要】

1. 当院の活動実績報告  
当院の患者数、地域との連携実績、地域住民への健康促進等について報告。
2. 臨床実習について  
実習内容や実習実績について報告。
3. 健康管理センター紹介  
健診内容や健診実績について報告。

#### 4. 協議委員からの意見・要望事項

##### 1) 救急搬送される患者について

- ・ 救急搬送される患者の疾患は主にどのようなものか。  
⇒消化器系、呼吸器系疾患が多い。詳細については次回の地域協議会で報告。
- ・ 肺がんの患者について受け入れ状況はどのようなものか。  
⇒昨年度より呼吸器外科を開設しており、今まで以上に肺がんの患者を受け入れていく体制が構築されている。ただ地域に対し浸透していない面もあるので、PRを強化し患者の受け入れを増やしていく。
- ・ 病院から病院へ救急車を使って搬送する場合はどのようなケースか。  
⇒当院で緊急手術ができない脳や心臓疾患の場合や、慢性でも主治医が治療の都合上救急車での搬送が必要であると認めた場合。
- ・ 直方市の救急の件数が6年続けて年間3,000件を超えている。この中で転院搬送が約13%となっており、全国平均の約8%と比べ多くなっているが、逆紹介する場合の救急車の利用件数はどれくらいか。  
⇒詳細については調査を行い、次回の地域協議会で報告。

##### 2) 地域医療構想について

- ・ 直方・鞍手医療圏の急性期病床は、28年度565床あったものが、37年度必要病床数では294床と試算されているが、そこまで病床を減らすのは危険ではないかと思っている。福岡ゆたか中央病院の104床の急性期病床の維持についてはどう考えているのか。  
⇒患者のニーズを知ることが大事であり、患者が急性期を必要とするならば急性期を維持していただろうし、回復期を必要とするならば回復期への機能変更も考えなければならない。
- ・ 7対1入院基本料を守ってもらい、患者の流出を防ぎ直方・鞍手医療圏の医療レベルを維持してもらいたい。
- ・ 直方・鞍手医療圏において、産科は1件しかなく他の医療圏に患者が出て行っている状況である。産科について検討することはできないか。  
⇒平成16年の病院移転の時にも産科および小児科の要望はあったが、医師を探したものの見つからず、また結核病床63床を抱える中小病院にとって産科、小児科を抱えることは負担が大きいということか

ら現在に至っている。

### 3) 地域包括ケアについて

- ・ 「ケアマネージャーとの連携の会」で、民生委員の方々が参加して交流を深めているが、地域の連携を図る上で非常に良い取り組みだと思う。
- ・ 直方市は民生委員と社会福祉協議会、ケアマネージャーとの連携が遅れている。連携を強化することで独居老人に対する対応を強化していかなければならない。病院が主体となって「ケアマネージャーとの連携の会」のような場を提供してもらえることに感謝している。
- ・ 訪問指導の件数や、看護師の意識付けについて教えてほしい。  
⇒退院後訪問指導件数は 25 件/月を目標にしており、退院後の状況を知ることで、入院時に何をしなければならなかったのか、常に入院時から退院後を見据えて対応することが大事であると職員には指導している。

### 4) 臨床実習について

- ・ 実習にきた学生に対し、看護師のあり方とか育成の理念についてどのように伝えているのか。  
⇒実習前に学生オリエンテーションを開き、その中で看護師のあり方や当院の育成の理念を伝えている。
- ・ 実習受け入れについて、さらに受け入れ（キャパシティー）はどうか。  
⇒受け入れの学校が増えてきているが、実習期間等の調整がつけばあと 1 校程度であれば大丈夫。
- ・ 2 年前に高校を卒業して現在当院で働いている看護師と懇談会を開いたが、非常に成長している姿を見ることができ、お礼を申し上げたい。また前回要望で挙げた看護師養成の内容について今回報告してもらい感謝している。

### 5) 健康管理センターについて

- ・ 健康フェアについて、どのようなサービスを行っているのか。  
⇒CTによる内臓脂肪の測定、ABI検査（血管年齢を調べる検査）、血糖検査、脳年齢チェック等を無料で行っている。

- 骨粗鬆症の患者も増えてきており、健康フェアで骨粗鬆症の検査を追加できないか。  
⇒時間的な問題やマンパワー的な問題もあり、検査については選別させてもらっている。
- 健康管理センターで看護実習はできないか。  
⇒以前受け入れた実績があり、対応については検討したい。

#### 6) その他

- ヘルシークッキングやいきいき健康教室の参加方法について。  
⇒ヘルシークッキング（3回/年）は健康管理センターのレディースルームで行っており、参加定員は38名。事前申し込み、および参加料700円が必要。  
いきいき健康教室（3回/月）は4階病棟のデイルームで行っており、参加定員はなく、事前申し込みや参加料は必要なし。
- 病院の姿勢として患者のニーズの把握に力を入れているようだが、入院満足度調査で点数が下がった場合、病院全体でどのように対処しているのか。  
⇒特に病院全体で対策をとるといったことはせず、それぞれの担当部署において点数が下がった分析を行い対応しており、その結果として点数が下がった翌月以降は改善している。

以 上